

第4号議案【第18期】2018年度基本方針・事業計画

◆議事期間 2018年4月1日～2019年3月31日

2018年度は、こどもNPOのミッション達成に向けて、さらなる一步を踏み出すために下記の3点について重点的に取り組みます。

1. ミッションの再確認

こどもNPOは、「子どもの社会参画」を通じて「持続可能な社会」を実現していくことが最大のミッションです。このミッションを達成するためには、私たち一人ひとりが、子どもの社会参画につなげるために必要なことは何かを考え実行することが重要です。

そのために各拠点がチーム力を強化し、学び合える場であること、子どもたちが本来持っている力を発揮でき、社会参画できる環境や機会を創ること、そして、子どもの力を信じる大切だと考えます。

2. 経営会議の新設 ～事業運営の強化のために～

事業活動を通じて、より効果的にミッション実現に進むことができるよう、理事会とは別に「経営会議」を新設し、事業運営全体を統括します。主な役割は以下の3点です。特に（2）（3）に関しては、これまで担当が明確でなかったものを、組織として取り組むことができるよう体制を整えます。

（1）経営マネジメント

これまで理事会が担ってきた経営全般のマネジメントを行います。

（2）事業評価と改善

責任者会議でも毎年事業ごとの評価を行います。より客観的に各事業を評価し、ミッション達成に向けた改善策を立案します。

（3）事業企画

（2）の改善策に基づき、必要であれば新規事業の企画を担います。委託案件について応募すべきか否かの判断も、経営的な視点も含めて行います。

3. やりがいある職場づくり

～こどもNPOの将来を担う人材育成・体制づくりのために～

こどもNPOがこどもの社会参画を進めるためには、私たち一人ひとりが主体的であり、団体運営にも参画する意識を持つことが必要です。それぞれの現場でのディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の推進とスキルアップのためのチームビルディング、そして、5年後、10年後を見据え、引き継いで行ける次世代が育つことを目指します。また、日ごろのみなさんの活動を広く世間に伝え、こどもNPOのファンを増やすことができれば、会員の増加や寄付などによる活動資金づくりにつながります。

◆2018年度 事業計画

事業名		実施日程	実施形態	
(1) 子どもの社会参画事業				
1	もうひとつのがっこう 子どもとつくる くらし☆あそび☆まなびの場 Roots	4月～9月	自主事業	10月より惟の森へ事業移管
2	子どもの最善の利益保障と子どもの社会参画を一体推進する地域の場づくり事業	通年	助成事業	日本郵便
3	緑児童館	通年	指定管理	名古屋市子ども青少年局
4	中川児童館	通年	指定管理	名古屋市子ども青少年局
(2) 子育て・子育て支援事業				
5	名古屋市子ども・子育て支援センター	通年	委託事業	名古屋市子ども青少年局
6	緑区子育て支援ネットワーク連絡会 「子どもが育つ地域のつながりづくり」事業実行委員会	通年	委託事業	緑区役所
7	住友理工（株）・池田町・こども NPO 協働事業	4月～9月	協働事業	住友理工（株）、池田町
8	地域子育て支援拠点事業	10月～3月	委託事業	名古屋市子ども青少年局
(3) 子どもの最善の利益を保障する事業				
9	名古屋市中学生の学習支援事業 A型	通年	委託事業	名古屋市健康福祉局
10	名古屋市高校生の学習支援事業 A型	通年	委託事業	名古屋市健康福祉局
11	名古屋市中学生の学習支援事業 B型 大高南	通年	委託事業	名古屋市子ども青少年局
12	名古屋市中学生の学習支援事業 B型 徳重	通年	委託事業	名古屋市子ども青少年局
13	名古屋市中学生の学習支援事業 B型 旭出	通年	委託事業	名古屋市子ども青少年局
14	名古屋市高校生の学習支援事業 B型	通年	委託事業	名古屋市子ども青少年局
15	知立市生活困窮者子どもの学習支援事業	通年	委託事業	知立市福祉子ども部
16	名古屋市居場所づくり事業	7月～3月	委託事業	名古屋市子ども青少年局
(4) 人材育成事業				
17	大学連携事業	11月～3月	協働事業	名古屋市立大学
18	講師派遣	通年	自主事業	

(5) 調査研究及び政策提言事業				
19	政策提言	通年	各事業を通しての政策提言	
(6) 広報・啓発事業				
20	メルマガ、Facebook、HP、ブログ、機関誌等による広報活動	通年	自主事業	